

2013年度 学校評価並びに関係者評価 実施結果報告

『ご挨拶』

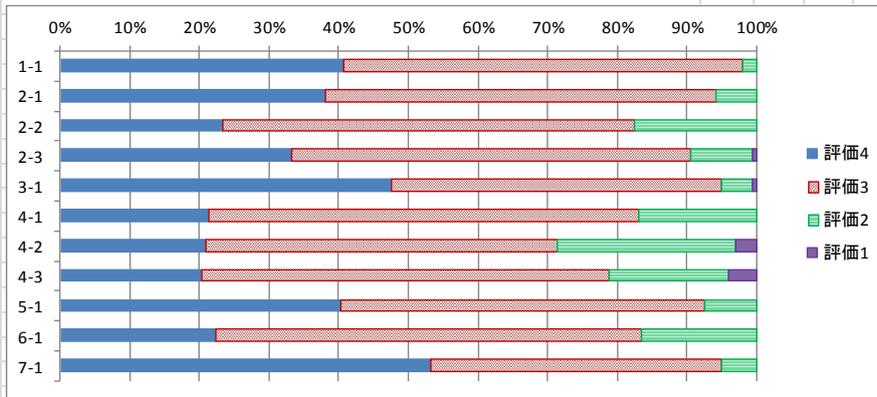
学校関係者評価を公開いたします。本校の教育運営に対する関係者の評価をご高覧頂き、本校に対して、幅広い理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会の様々な領域において、組織をどのように統治するかという「ガバナンス」の在り方に注目が集まっており、専門学校についても教育の質保証・向上を図ると共に、学習者の適切な選択に資する観点から、学校評価・情報公開等への対応が求められています。そこで、本校においては、学生による授業アンケートや昨年度からは校長による授業観察並びに教職員の自己評価を実施しており、幾分かの効果을上げて参りました。また、学校評価を実施し、更なる教育・学習者支援に効果을上げております。

このアンケートは学校自己評価の評価結果について、関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める目的で、保護者の皆様をお願いするものです。

評価は各項目事に【評価 4. よく当てはまっていると思う。 評価 3. まあまあ当てはまっていると思う。 評価 2. どちらかという、当てはまっていない。 評価 1. 当てはまっていない。】

平成25年度		保護者アンケート集計結果【岡山理科大学専門学校】	評価					評価値
			4	3	2	1	合計	
1-1	教育目標	学校は教育理念・目標に沿った教育課程の編成・実施を行っている	57	80	3	0	140	3.4
2-1	教育活動	教職員は学生の指導・育成に努力している	52	77	8	0	137	3.3
2-2		子どもは、自己の目標達成のために普段から努力していると思える	32	81	24	0	137	3.1
2-3		子どもは、学校での授業や実習に満足していると思う	45	78	12	1	136	3.2
3-1	学習成果	学校は学生の資格取得や専門技術の育成に努力している	66	66	6	1	139	3.4
4-1	学生支援	学校は、学生に対して心身の健康管理に気を配っている	29	84	23	0	136	3.0
4-2		学校は、必要に応じて保護者に対し、子どもの生活・学習状況を連絡している	27	65	33	4	129	2.9
4-3		学校のキャリア教育や就職支援は(他校に比較して)よく行われている	25	72	21	5	123	3.0
5-1	教育環境	学校の施設・設備は、教育上必要性に十分対応できている	54	70	10	0	134	3.3
6-1	社会貢献	学校は、学生のボランティア活動を教育に取り入れ、醸成している	28	77	21	0	126	3.1
7-1	満足度	子どもを本校へ入学させて良かったと思う	74	58	7	0	139	3.5



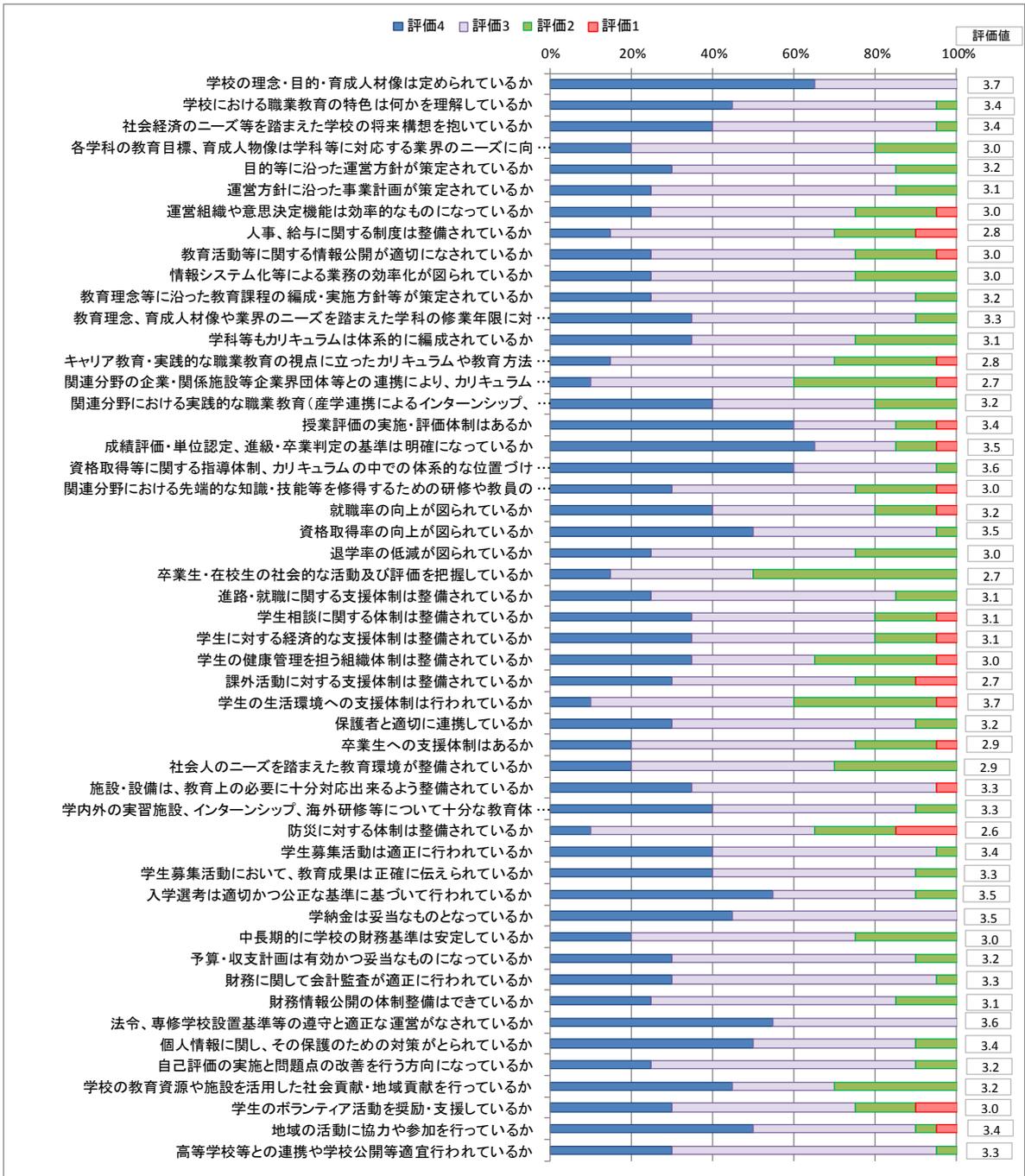
各項目別の評価割合

学校自己評価は、より自由度の高い学校種としての特性も考慮しつつ、本校の実践的な職業教育に係る活動等を評価し、改善・支援等を行うことにより、学生等が関係業界のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受出来るよう学校運営の改善と、本校の発展を目指すために行うものです。

評価は各項目事に【評価 4. よく当てはまっていると思う。 評価 3. まあまあ当てはまっていると思う。 評価 2. どちらかというと、当てはまっていない。 評価 1. 当てはまっていない。】

以上の評価数値を集計、重み付き平均を出したものが以下の通りとなりました。

平成25年度 学校評価(自己点検値)結果票								
項目	番号	質問内容	評価				合計	評価値
			4	3	2	1		
1 理念・教育 目標	1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	13	7			20	3.7
	1-2	学校における職業教育の特色は何かを理解しているか	9	10	1		20	3.4
	1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	8	11	1		20	3.4
	1-4	各学科の教育目標、育成人物像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	12	4		20	3.0
2 営 学校 運	2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	6	11	3		20	3.2
	2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	5	12	3		20	3.1
	2-3	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか	5	10	4	1	20	3.0
	2-4	人事、給与に関する制度は整備されているか	3	11	4	2	20	2.8
	2-5	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5	10	4	1	20	3.0
	2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5	10	5		20	3.0
3 教育 活動	3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5	13	2		20	3.2
	3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	7	11	2		20	3.3
	3-3	学科等もカリキュラムは体系的に編成されているか	7	8	5		20	3.1
	3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	11	5	1	20	2.8
	3-5	関連分野の企業・関係施設等企業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	2	10	7	1	20	2.7
	3-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	8	8	4		20	3.2
	3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	12	5	2	1	20	3.4
	3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	13	4	2	1	20	3.5
	3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	12	7	1		20	3.6
	3-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	6	9	4	1	20	3.0
4 修 成 果 学	4-1	就職率の向上が図られているか	8	8	3	1	20	3.2
	4-2	資格取得率の向上が図られているか	10	9	1		20	3.5
	4-3	退学率の低減が図られているか	5	10	5		20	3.0
	4-4	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3	7	10		20	2.7
5 学 生 支 援	5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5	12	3		20	3.1
	5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	7	9	3	1	20	3.1
	5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	7	9	3	1	20	3.1
	5-4	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	7	6	6	1	20	3.0
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	6	9	3	2	20	3.0
	5-6	学生の生活環境への支援体制は行われているか	2	10	7	1	20	2.7
	5-7	保護者と適切に連携しているか	6	12	2		20	3.2
	5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	11	4	1	20	2.9
	5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	10	6		20	2.9
6 育 環 境 教	6-1	施設・設備は、教育上の必要に十分対応出来るよう整備されているか	7	12		1	20	3.3
	6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	8	10	2		20	3.3
	6-3	防災に対する体制は整備されているか	2	11	4	3	20	2.6
7 募 集 入 受 学	7-1	学生募集活動は適正に行われているか	8	11	1		20	3.4
	7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	8	10	2		20	3.3
	7-3	入学選考は適切かつ公正な基準に基づいて行われているか	11	7	2		20	3.5
	7-4	学納金は妥当なものとなっているか	9	11			20	3.5
8 務 財	8-1	中長期的に学校の財務基準は安定しているか	4	11	5		20	3.0
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	6	12	2		20	3.2
	8-3	財務に関して会計監査が適正に行われているか	6	13	1		20	3.3
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	5	12	3		20	3.1
9 遵 等 法 守 の 令	9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	11	9			20	3.6
	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	10	8	2		20	3.4
	9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行う方向になっているか	5	13	2		20	3.2
10 域 献 社 ・ 会 貢 献 地 貢 献 地 貢 献	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	9	5	6		20	3.2
	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	6	9	3	2	20	3.0
	10-3	地域の活動に協力や参加を行っているか	10	8	1	1	20	3.4
	10-4	高等学校等との連携や学校公開等適宜行われているか	6	13	1		20	3.3
【総括】								
教育理念及び目標は概ね周知されていました。ただ、学科固有の育成人物像や業界・企業等のニーズに方向付けの認識が少々不足している結果に、教職員の共通理解と意思の疎通の不足を感じました。学校運営については人事給与に対して、低評価でしたが、当然の結果であると考えます。また、情報公開不足が指摘されましたので、このようにWeb公開に踏み切らせて頂きました。								

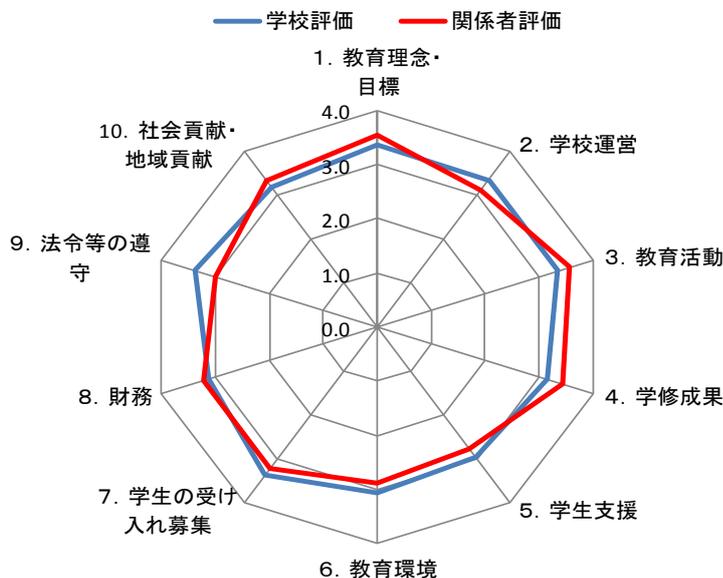


平成25年度 学校関係者評価

○外部関係者に、教職員全員の学校自己評価の結果(評価値)を参照し、評価値の適・不適の評価をお願いしました
 ※評価値は、4(そう思う)3(ややそう思う)2(あまり思わない)1(全く思わない)の点検値に対し、
 Σ (点検値×各評点人数)÷総人数で求めています。

項目	質問内容	評価値	意見・感想等
	4. 自己評価はかなり厳しいと(評価以上だと強く)思われる 3. 自己評価は少し厳しいと(評価以上と)思われる 2. 自己評価は少し甘いと(評価以下と)思われる 1. 自己評価はかなり甘いと(評価以下だと強く)思われる		関係者評価
念・教育目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか 学校における職業教育の特色は何かを理解しているか 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか 各学科の教育目標、育成人物像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3.6	
学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか 運営方針に沿った事業計画が策定されているか 運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか 人事、給与に関する制度は整備されているか 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	
教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 学科等もカリキュラムは体系的に編成されているか キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか 関連分野の企業・関係施設等企業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか 授業評価の実施・評価体制はあるか 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.6	特に、実践的な職業教育の視点に立った教育方法の工夫が見られる
学果修成	就職率の向上が図られているか 資格取得率の向上が図られているか 退学率の低減が図られているか 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3.4	在学中の資格取得が顕著である
学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか 学生相談に関する体制は整備されているか 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか 課外活動に対する支援体制は整備されているか 学生の生活環境への支援体制は行われているか 保護者と適切に連携しているか 卒業生への支援体制はあるか 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.8	
教育環境	施設・設備は、教育上の必要に十分対応出来るよう整備されているか 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか 防災に対する体制は整備されているか	2.9	
学生募集	学生募集活動は適正に行われているか 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 入学選考は適切かつ公正な基準に基づいて行われているか 学納金は妥当なものとなっているか	3.2	
財務	中長期的に学校の財務基準は安定しているか 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか 財務に関して会計監査が適正に行われているか 財務情報公開の体制整備はできているか	3.2	
遵守法令	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 自己評価の実施と問題点の改善を行う方向になっているか	3.0	
地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか 地域の活動に協力や参加を行っているか 高等学校等との連携や学校公開等適宜行われているか	3.3	積極的な社会参加が伺える

学校評価及び関係者評価



【総括】

厳しい内部評価に対し、学校関係者は高評価を付けられたことに安堵しています。

平成26年7月31日に2013年度学校関係者評価委員会を開催しました。保護者アンケート、授業アンケート、学校評価そして学校関係者評価結果について質問やご意見を頂戴致しました。出席外部委員は11名中10名でした。

『関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか？』『具体的な取組はどのようなものか？』との質問があり、『建築学科については資格取得対策を在学中から卒業まで継続的に行っている。また、古民家再生などの社会のニーズに従った校外学習・研修を取り入れている』『動物系では、インターンシップがカリキュラムに必須科目として挙げられ、実習先との協定を結んでいる。また、関連団体・機関との実習・演習連携を継続的・体系的に行うために、協力協定を締結している。また、ドッグトレーニング学科においては、卒業生との交流を積極的に推進し、トリミング学科では、一般家庭のペットを実習に供与するために、個人との契約を結んでいる』と、回答。

退学率の質問に対して『学科によって高低があるが、全国平均が6.7%に対し、本校は5%弱である。また、理由については殆どが経済的理由である』旨、回答。

就職先の地域に関する質問では『概ね県内が多いが、地元Uターンをバックアップしている。最近では京阪神や首都圏への就職希望も漸増傾向にある』と、回答。

本校の学校教育目標と経営姿勢に対して、高評価を頂きました。

岡山理科大学専門学校 財務状況資料

■消費収支

(単位：千円)

年度 科目	25年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	357,320	382,492
補助金収入	181	318
その他収入	6,729	4,829
帰属収入合計	364,230	387,640
基本金組入額合計	△ 4,307	△ 16,729
消費収入の部合計	359,923	370,911
人件費	221,201	221,914
教育研究経費	74,007	79,736
管理経費	29,984	29,818
その他支出	1,303	1,607
消費支出の部合計	326,495	333,076